



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 株式会社極楽湯ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2340 URL <https://www.gokurakuyu-holdings.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長グループCEO(氏名) 新川 隆文  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員CF0 (氏名) 鈴木 正守 (TEL) 03-5275-4126  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,800	△0.8	305	△35.6	224	△50.1	72	△63.8
29年3月期第1四半期	3,830	5.2	474	110.0	451	80.1	199	14.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 30百万円(△82.0%) 29年3月期第1四半期 169百万円(△43.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.07	4.62
29年3月期第1四半期	15.06	13.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	17,847	7,137	29.7
29年3月期	19,171	7,143	28.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,295百万円 29年3月期 5,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	13,900	1.0	500	△23.9	380	△46.0	200	△30.4	14.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	15,232,500株	29年3月期	15,127,400株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	917,675株	29年3月期	917,675株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	14,212,035株	29年3月期1Q	13,225,947株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス景気が戦後3番目の長さを記録するなど、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしましたが、米国の政治的な混乱や英国のEU離脱、北朝鮮のミサイル使用、世界各地でのテロ発生など世界情勢は不安定な状態が続いており、先行きには不透明感が広がっております。

日本の温泉業界につきましては、エネルギーコストの低位安定に加え、「安・近・短」の手軽なレジャーとしてのニーズが底堅く推移する一方、人手不足を背景とした労働力の確保やニーズの多様化など厳しい経営環境が続いております。また、中国の温泉業界につきましては、中間所得層の増加によりレジャー施設の需要が増加する一方、上海を中心に日本式サービスを謳う温泉施設が多数出店するなどその野の広がりと同時に競争が激しくなっております。

このような状況の中、当社グループは、今年1月に実施したホールディングス化に伴う組織改革を推進するとともに直営店での積極的な販促イベントに加え、名古屋新店の開業準備や新規事業の検討などを進めました。また、中国においては、直営店改装計画の推進、顧客満足度を高めるための各種施策の実施、当期オープン予定のフランチャイズ店の開業準備などに取り組みました。

引き続き、お客様のニーズの変化をいち早く感じとり迅速に対応できる企業として、総合力を強く意識したうえで、より一層の安心・安全そして高品質なサービスを国内外で提供すべく取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,800百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は305百万円（前年同期比35.6%減）、経常利益は224百万円（前年同期比50.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72百万円（前年同期比63.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

## ① 日本

当セグメントにおきましては、売上高2,522百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益（営業利益）7百万円（前年同期比92.6%減）となりました。

日本の第1四半期（4月～6月）は、通期でみると季節的要因により来店客数が最も少ない期間となりますが、当第1四半期連結累計期間（4月～6月）の業績は、平成28年8月にリニューアルオープンした「RAKU SPA Cafe 浜松」の業績が3カ月フルで売上高に寄与したことが影響し、前年同期に比べ売上高は増加しました。しかしながら、新体制に向けた組織改革に伴う様々な費用が発生したことに加え、顧客満足度の向上を目的として積極的に修繕、備品交換、販促活動を進めた結果、前年同期に比べセグメント利益（営業利益）は減少しました。

## ② 中国

当セグメントにおきましては、売上高1,283百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益（営業利益）273百万円（前年同期比35.6%減）となりました。

中国における業績も日本と同様に季節的要因による変動があり、通期でみると第1四半期（1月～3月）は気温が低く大型連休となる春節（旧正月）もあるため収益が最も期待できる時期であります。当第1四半期連結累計期間（1月～3月）の業績は、平成28年11月に中国武漢市にオープンした海外3号店「極楽湯 金銀潭（じんいんたん）温泉館」の業績が3カ月フルで売上高に寄与した一方、春節時期や気温上昇が前年よりも早く、来店客数が減少する時期が早くなったことも影響し、売上高及びセグメント利益（営業利益）は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,323百万円減少し17,847百万円となりました。これは主に、借入金の返済等により現金及び預金が954百万円減少したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,316百万円減少し10,710百万円となりました。これは主に、長期借入金が397百万円、前期に発生した修繕費用の支払い等により未払金が320百万円、短期借入金が100百万円減少したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し7,137百万円となりました。これは主に、非支配株主持分が36百万円増加した一方で、為替の影響により為替換算調整勘定が77百万円減少したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、29.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、当初の計画通り順調に推移しておりますので、平成29年5月15日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

しかしながら、日本、中国ともに急激な気温の変動、テロ発生などの脅威、景気の冷え込みなど不透明な状況があります。平成30年3月期第2四半期の連結業績予想につきましては、当社グループの業績に与える影響を現段階で見通すことが難しいため、未定としております。今後、慎重に精査した上で数値がまとまり次第、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,638,057	3,683,757
売掛金	245,485	234,473
未収入金	9,699	3,250
たな卸資産	73,707	72,032
繰延税金資産	55,739	40,168
その他	255,379	274,388
流動資産合計	5,278,069	4,308,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,933,152	9,599,151
工具、器具及び備品(純額)	759,441	710,945
土地	182,051	182,051
建設仮勘定	582,866	596,884
有形固定資産合計	11,457,511	11,089,031
無形固定資産		
投資その他の資産	259,955	250,404
投資有価証券	29,825	29,425
長期貸付金	62,442	88,344
繰延税金資産	396,426	442,159
敷金及び保証金	898,237	892,974
その他	552,941	534,852
投資その他の資産合計	1,939,873	1,987,756
固定資産合計	13,657,340	13,327,193
繰延資産	235,983	212,637
資産合計	19,171,393	17,847,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	413,014	316,321
短期借入金	800,000	700,000
1年内償還予定の社債	49,000	49,000
1年内返済予定の長期借入金	1,556,580	1,532,780
未払金	883,155	562,576
未払法人税等	235,030	58,178
前受金	1,121,946	939,170
賞与引当金	31,540	78,593
その他	480,851	439,060
流動負債合計	5,571,119	4,675,681
固定負債		
社債	129,500	129,500
長期借入金	5,375,850	5,002,480
退職給付に係る負債	117,445	109,895
資産除去債務	464,509	466,142
その他	369,105	327,083
固定負債合計	6,456,410	6,035,101
負債合計	12,027,530	10,710,782
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,553,950	2,565,139
資本剰余金	2,514,730	2,525,919
利益剰余金	566,336	553,173
自己株式	△356,138	△356,138
株主資本合計	5,278,878	5,288,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△124	△362
為替換算調整勘定	85,594	7,979
その他の包括利益累計額合計	85,469	7,617
新株予約権	101,212	126,882
非支配株主持分	1,678,303	1,714,525
純資産合計	7,143,863	7,137,119
負債純資産合計	19,171,393	17,847,902

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,830,686	3,800,641
売上原価	3,059,021	3,158,113
売上総利益	771,664	642,527
販売費及び一般管理費	296,847	336,869
営業利益	474,817	305,658
営業外収益		
受取利息	3,531	3,423
受取家賃	4,649	4,649
デリバティブ評価益	24,417	—
協賛金収入	4,833	12,592
その他	8,461	9,864
営業外収益合計	45,893	30,529
営業外費用		
支払利息	25,761	22,743
為替差損	34,127	57,753
デリバティブ評価損	—	13,453
開業費償却	5,723	13,885
その他	4,090	3,469
営業外費用合計	69,701	111,305
経常利益	451,008	224,882
特別利益		
新株予約権戻入益	4,392	592
特別利益合計	4,392	592
特別損失		
その他	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	455,400	225,474
法人税、住民税及び事業税	87,474	71,459
法人税等調整額	28,384	△34,581
法人税等合計	115,858	36,878
四半期純利益	339,542	188,596
非支配株主に帰属する四半期純利益	140,371	116,500
親会社株主に帰属する四半期純利益	199,171	72,095



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	339,542	188,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	△238
為替換算調整勘定	△170,038	△157,892
その他の包括利益合計	△170,103	△158,130
四半期包括利益	169,438	30,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,018	△5,756
非支配株主に係る四半期包括利益	50,420	36,222

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,487,712	1,342,974	3,830,686	—	3,830,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,450	—	20,450	△20,450	—
計	2,508,162	1,342,974	3,851,136	△20,450	3,830,686
セグメント利益	104,524	424,179	528,703	△53,886	474,817

- (注) 1 セグメント利益の調整額△53,886千円は、セグメント間取引消去1,570千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△55,456千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には、平成28年1月1日から平成28年3月31日までの業績が反映されております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,516,790	1,283,850	3,800,641	—	3,800,641
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,854	—	5,854	△5,854	—
計	2,522,645	1,283,850	3,806,495	△5,854	3,800,641
セグメント利益	7,703	273,141	280,845	24,813	305,658

- (注) 1 セグメント利益の調整額24,813千円は、セグメント間取引消去81,525千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,712千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には、平成29年1月1日から平成29年3月31日までの業績が反映されております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

当社は、平成29年7月10日開催の取締役会において、以下のとおり第三者割当による新株式の発行について決議いたしました。その概要は次の通りです。

(1)	発行株式数及び種類	普通株式 2,410,000株
(2)	発行価額	1株につき 793円
(3)	発行価額の総額	1,911,130,000円
(4)	増加する資本金及び 資本準備金の額	増加する資本金の額 955,565,000円
		増加する資本準備金の額 955,565,000円
(5)	募集方法	第三者割当の方法による
(6)	割当予定先及び 割当株式数	ハーベスト・プレミア・インベストメント・コーポレーション : 1,160,000株
		金之泉酒店投資管理有限公司 : 600,000株
		呉錦平 : 350,000株
		株式会社久世 : 300,000株
(7)	払込期日	平成29年8月4日
(8)	調達する資金の用途	「RAKU SPA 名古屋(仮称)」の出店費用に全額充当する予定です。